

也、李時珍曰、皂鷗卽鷺也、青鷗出遼東最俊者謂之海東青、卷鷺出西南夷、黃頭赤目五色皆備、必大按、李氏亦大概爲一物、又云、其翮可爲箭羽、本邦亦同、

〔大和本草十五山鳥〕鷺 本草鷗ノ異名ヲバ爲鷺、又曰皂鷗卽鷺也、鷺ニ大小アリ、尾十三枚以上ヲ大鳥ト云、十二枚以下ヲ小鳥ト云、鷺衆鳥ノ内尤タケク力ツヨシ、小兒ヲツカム事古來有之、○中海邊

ニ栖ラ磯鷺ト云、小ナリ、

〔重修本草綱目啓蒙三十三山禽〕鷗 マト萬葉 ツバサタマドリ 古歌 ワシ 一名黑漫天 清異 姑

栗陀 紺珠 事物 鳥訓 蒙

黑鷗 同上

愁雷鷗 鶴

鷺ノ類ニシテ形大ク嘴大ナリ、背翅黑色ニシテ白斑アリ、腹ハ白色ニシテ堅ニ黒斑アリ、嘴脚黄色能狐狸兔犬ヲ攫モノアリ、山村ニテハ偶嬰兒ヲ攫コトアリト云フ、鷗ノ尾ヲ以テ箭羽トス、和漢共ニ上品トス、本邦ニテハ大鳥ト小鳥トヲ分別シ、老鳥ノ尾ノ羽數十三枚已上アルモノヲ大鳥ト云、矢ニ用ルニ上品トス、嫩鳥尾十二枚已下アルモノヲ小鳥ト云フ、○中唐山ニテモ箭羽ニハ鷗ヲ用、上トス、

〔食物和歌本草二〕鷺

わしの骨灰となしつ、酒でのめ足手身ほねのくだけたによし、わしの屎灰にやきつ、酒でのめ禽獸の骨のどに立しに

〔出雲風土記意宇郡〕凡諸山野所在○中禽獸則有鷗、

〔出雲風土記島根郡〕凡諸山野所在○中禽獸則有鷺、字或作鷗、

〔萬葉集十四〕相聞

筑波禰爾可加奈久和之能禰乃未乎可奈岐和多里南牟安布登波奈思爾、

右常陸國歌